

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 東みよし町社会福祉協議会

## 1. 総括

### 令和5年度 事業総括

生活や社会活動の急激な変化のなか、物価の急上昇は止まらず家庭や地域内での福祉課題が重くのしかかり、常に何かを心配しながらの生活する方が顕著化しています。福祉課題は局内で共有しながら関係機関とも協議・連携し協働で取組み、地域包括ケアシステムの構築、見守り、交流、支えあい等、地域福祉活動の推進と介護保険事業、地域包括支援センターの事業を運営し「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」の実現と地域福祉活動の啓発に努めてまいりました。

住民の皆様と共に全職員が知恵と工夫を出し合い、今できることを精一杯やってきた1年でした。慎重にかつ大胆にそして何より大きな熱意を持って、ご協力・ご尽力いただいた皆様、地域福祉活動を実践し「支え愛」をご提供いただいた皆様に感謝申し上げます。

### 重点目標総括

#### ① 社会福祉法人として健全運営と公益的な事業の強化

物価高騰が続く経済状況が厳しいと言われる中にも関わらず、社協会費、善意銀行へご寄付を賜りました。地域福祉の中核を担う組織として、局内連携と共通認識を強化するため、夕礼、月1度の管理職会議、研修を実施しました。

#### ② 地域住民の参画と協働による地域福祉活動の推進

第3期地域福祉活動計画を実践する事業として地域福祉活動推進事業、地域の支えあいを再確認し情報共有する「さんわ会」事業等、多くの地域福祉活動が実施されました。子どもたちが安心して笑顔で集まれる場づくりでは、多くの方にご支援いただきました。

#### ③ 総合相談・生活支援体制の確立と機能強化

権利擁護センターを受託し令和5年度から実施しました。日常生活自立支援事業と共にあと少しの支援があれば、地域や自宅での生活が可能な方への相談機関として、大いにご活用いただきました。子育てや就労、言語の問題など幅広い支援が必要ななか、相談しやすい仕組みと関係を構築するため、SNSを使った相談受付や支援、フードバンク事業を活用した個別支援を実施しました。

#### ④ 他機関との連携と情報共有の強化

社会福祉法人の連携する「東みよし町くらしサポートネットワーク」を開設しました。定期的な検討会を実施し、今後も関係機関お互いが持ち合わせる機能を住民の方に気軽に活用いただける仕組み作りを目指します。

⑤ 災害時対応力の向上

自然災害、感染症共に対応した事業継続計画を常に見直しながら、平常業務を進めました。西部圏域災害ボランティアセンター設置運営訓練は美馬市で実施され、水害時の参集とボランティアセンターの見立てを行いました。幸い町内及び県内では大きな災害が発生しませんでした。1月1日に能登半島地震が発災し、職員派遣のための調整を行いました

⑥ 介護保険サービスの質の向上と人材育成の強化

通所介護事業は、目標と定めた利用率80%は叶わずさらに悪化の状況にあり赤字決算となりました。また運転資金の確保がままならず他の会計より借入れが続いています。近年利用者の個別支援への要望が高く、訪問介護の利用が増大し町からの補助金を得て運営しています。近隣では担い手不足により閉鎖する事業所もあり、今後も本会への要望は高くなると考えています。

⑦ 地域包括支援センターの運営

地域包括ケアの実現に向けて、総合相談、権利擁護、個別地域ケア会議からの地域課題の抽出、介護支援専門員の資質向上、認知症への取り組み等に重点を置いたセンター運営を行いました。のびのび教室、搜索模擬訓練など、住民参加型のイベントも実施し自助力・共助力の向上にもつながりました。

⑧ 退職世代の学び・交流・活動の場づくり

高齢者が自ら学び相互に支えあう仕組み作りと、経験や知識を活かして活動するシルバー大学校・大学院やシルバー人材センター事業を毎年計画通りの事業が実施しました。

# 総務課

## 事業運営の概要

### 1. 理事会・評議員会・監事会の開催状況

開催年月日	会議名	審議等事項
R5.5.18	監事会	令和4年度決算監査
R5.6.1 (第1回)	理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度事業報告・会計決算報告・監査報告について</li> <li>②令和5年度第1回補正予算(案)について</li> <li>③理事・監事候補者の選定について</li> <li>④諸規定の一部変更について</li> <li>⑤第1回評議員会(定時評議員会)の招集について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①善意銀行の払出の申込及び戻し入れについて</li> <li>②会長及び常務理事の業務執行状況について</li> </ul>
R5.6.19 (第1回)	評議員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度事業報告・会計決算報告・監査報告について</li> <li>②令和5年度第1回補正予算(案)について</li> <li>③理事及び監事の選任について</li> </ul>
R5.6.19 (第2回)	理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①会長、副会長、常務理事の選任について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和5年度夏季勤勉手当の支給について</li> </ul>
R5.12.20 (第3回)	理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①第2回評議員会の招集(開催)について</li> <li>②令和5年度第2回補正予算(案)について</li> <li>③諸規定の一部変更について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和5年度上半期運営状況について</li> <li>②令和5年度勤勉手当の支給について</li> <li>③会長及び常務理事の業務執行状況について</li> <li>④善意銀行払出申込について</li> </ul>
R5.12.20 (第2回)	評議員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和5年度第2回補正予算(案)について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和5年度上半期運営状況について</li> <li>②令和5年度勤勉手当の支給について</li> <li>③会長及び常務理事の業務執行状況について</li> <li>④善意銀行払出申込について</li> </ul>

R6.3.4 (第4回)	理事会	<b>議案</b> ①令和6年度 事業計画(案)について ②令和6年度 当初収支予算(案)について ③諸規定の変更について ④第3回評議員会の招集について <b>専決事項</b> ①第2回予算流用の報告について <b>報告事項</b> ①善意銀行払出申込について
R6.3.19 (第3回)	評議員会	<b>議案</b> ①令和6年度 事業計画(案)について ②令和6年度 当初収支予算(案)について <b>専決事項</b> ①第2回予算流用の報告について

## 2. 広告宣伝活動

社協だよりを2回発行

- 1号 4,400部印刷 7月10日から 3,985世帯に配布
- 2号 4,400部印刷 2月13日から 3,969世帯に配布

ホームページやフェイスブックを通じた情報提供を行い、ホームページ上ではふれあい・いきいきサロンマップ、AEDマップを掲載し情報を可視化しています。



東みよし町社協  
ホームページ



東みよし町社協  
フェイスブック



ふれあい・  
いきいきサロンマップ



東みよし町  
AEDマップ

### 3. 社協賛助会員及び賛助会費

社協の事業は、県や町の補助金・受託金・共同募金の配分金・寄付金等だけでなく、社協の行う事業に賛同し、社協の理念・活動を支えていただける社協会員の皆様のご協力により成り立っております。

住民の皆様が住み慣れた地域で暮らせるために、高齢者・障害者支援、ボランティア活動支援、地域づくり支援（さんわ会）などの地域福祉充実を推進するための原資です。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
依頼件数（世帯）	4,158	4,163	4,074	4,028	3,949
賛助会費（千円）	3,552,000	3,414,600	3,377,500	3,382,000	3,315,500
加入率	85.43%	82.02%	82.90%	83.96%	83.96%

### 4. 善意銀行事業（預託実績）

町民の皆様から善意のこもった金銭や物品をお預かりし、その善意をさまざま地域福祉事業等で役立てています。

安心して暮らせる福祉のまちづくりのために、善意銀行の趣旨をご理解いただき町民の皆様の温かいご支援ご協力をお願い致します。

年月日	寄付申込者（敬称略）	自治会	預託金・物品
R5.4.3	シルバー大学校第37期生		7,569 円
R5.4.6	シルバー大学校第38期生		10,008 円
R5.5.1	スタジオFUN チャリティー フラパーティー 土井逸子		10,000 円
R5.7.3	片山レイコ	原	車いす1台
R5.11.2	下原あかり	安広	軽自動車（中古）
R5.11.30	岡井正夫	美濃田	100,000 円
R5.12.12	東みよし町地区対抗ゴルフ 大会代表 加藤仁		103,781 円
R5.12.18	スタジオFUN チャリティー フラパーティー 土井逸子		15,000 円
R6.1.26	児童養護施設 加茂愛育園		テレホンカード26枚 (13,000円分)
合 計			現金 246,358 円

※ 参考として

過去5年間の善意銀行への寄付金（現金のみを記載）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
955,471	351,949	1,303,000	605,250	818,557

# 地 域 福 祉 課



## 地域福祉事業

### 1. さんわ会事業

地域の支え愛の再構築と地域課題の可視化、防災・減災活動として開催をいただいている。本年度は高齢者サロンが主体となったこどもサロンや、親子会での実施など多様な実施主体による開催の機会が増加している一方、自治会や自主防災会などによる開催はコロナ禍以降減少している。自治会長会や自主防災組織連絡会などの際に本事業の周知を行い、気軽に開催いただけるよう呼びかけを継続していきたい。

	年月日	回数	主催	場所	人数	炊き出し	マップ	防災講話	その他
1	R05/05/14	8	北村一心会自治会	北村集会所	72	○	○		
2	R05/05/14	7	光北自治会	光北集会所	40	○	○	○	
3	R05/07/22	初	山根いきいきサロン	山根集会所	55	○		○	
4	R05/07/26	初	高木親子会	やまももハウス	27	○		○	○
5	R05/09/30	3	昼間婦人会	中央公民館	20	○		○	
6	R05/10/10	2	大藤奥村自主防災会	大藤公民館	18	○	○		
7	R06/03/18	7	東みよしTF陸上クラブ	社会福祉協議会	45	○		○	○
合 計					277				

### 2. 地域福祉活動推進事業

自治会や地域団体等が主体となって行う、地域交流、世代交流などの地域福祉活動計画の目標達成のための事業に対して助成を行っている。

地域福祉活動計画では、いきがづくりやあいさつ声かけ等の『つながり』、ご近所での助け合いや自治会活動の充実による『絆』、世代間交流や学校・施設を活用した活動による『地域力』が地域課題として明らかになっており、それらを解決する活動の支援を行った。

	年月日	実施主体	場所	参加人数	事業内容
1	R05/10/07	西庄さんわ推進会	西庄池周辺	45	西庄池周辺環境美化活動
2	R05/11/24	足代地域の防災を考える会	足代小学校	250	足代地区防災訓練
3	R05/11/26	西庄良所会	西庄小学校	80	西庄フェスタ
4	R06/02/22	西庄良所会	西庄公民館	35	西庄地区お食事会
5	R06/02/25	守る会東山	東山小学校	200	しゃまの節句まつり
6	R06/03/08	ボランティアグループ愛東山	東山公民館	15	東山地区お食事会
7	R06/03/25	社会福祉協議会	大藤公民館	24	大藤奥村お食事会
合 計				649	

### 3. ふれあい・いきいきサロン支え隊事業【町受託事業】

高齢化やご近所による見守りや支えあいの希薄化が問題視される現状に鑑み、身近な地域で『気軽に』『楽しく』集まれる場所づくりのためにサロン活動の開催を促し支援している。

会員の入所や参加人数の減少により解散したサロンもあるが、新設の相談も増えてきている。「のびのび教室」への参加をきっかけに、サロンの立ち上げにつながるケースも多く感じられた。

#### ◇サロン設置数及び登録人数

地 区	設置数	登録人数	上半期 開催回数	延べ参加人数	新設数	解散数
三庄平坦地区	12	139	252	2,856	1	3
三庄山間地区	4	41	72	756	0	0
加茂地区	11	160	468	7,200	3	0
昼間地区	6	78	168	2,784	0	0
足代地区	8	70	276	2,424	1	0
東山地区	1	12	12	144	0	0
合 計	42	500	1,248	16,164	5	3

### 4. 地域支援事業（通いの場）【町受託事業】

要支援や要介護状態になるのを予防し、いつまでも元気な老後をめざすため、身近な通いの場（お住まいの地域）で5人以上のグループをつくり、介護予防への取り組みを自主的に行っていたりするための支援を行っている。

#### ◇通いの場主な内容

- ①「いきいき百歳体操（徳島版）」等の体操を実施
- ②初回から4回は理学療法士、またはサロンコーディネーターが実技指導を行う
- ③職員が訪問し健康チェックと体力測定を行う（初回、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後、1.5年後、2年後、2.5年後、3年後～）
- ④定期的に理学療法士が実技指導を行う（初回、3ヶ月後、1年後、2年後、3年後～）

地区名	設置数・登録人数			体力測定等実施回数・専門職派遣数	
	設置数	登録人数	新設数	実施回数	理学療法士派遣数
三庄平坦地区	10	111	0	15	8
三庄山間地区	2	19	0	2	1
加茂地区	7	109	1	15	8
昼間地区	5	68	0	5	2
足代地区	7	62	1	13	7
東山地区	2	18	0	3	2
合 計	33	387	2	53	28

## 5. こどもの居場所づくり推進事業

地域の大人との継続的な交流ができ、子どもたちにとって安全で安心な居場所であり、信頼関係のもとでの様々な活動を行う中で、すべての子どもたちが夢や希望をもって健やかに成長していける居場所づくりを展開する。

### ○こども★さろんの開催

子どもや子育て世帯の居場所づくりと交流の場所づくりのため、三好地区と三加茂地区で計3回開催した。関係機関にご協力いただき、宿題支援や紙芝居、手話体験、昔遊び体験などの活動や昼食を実施している他、三好地区では児童公園プールを拠点としているため、講師をお招きし「水難事故防止のための講習会」を実施している。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回目	7月25日（火） 9:30～15:00	中央公民館2階和室 児童公園プール	宿題支援、紙芝居、カルタ、 工作体験、昼食プール講習会	50名 (こども48名) (おとな2名)
2回目	8月7日（月） 9:30～14:00	中央公民館2階和室	宿題支援、炊き出し体験、高 校生Vによるレク活動、昼 食、竹水てっぽう工作体験	19名 (こども19名)
3回目	2月18日（日） 10:00～13:00	三庄公民館	手話体験、昔遊び体験、レク リエーション活動、昼食	11名 (こども7名) (おとな4名)

〈参加費〉【三好地区】こども100円・おとな300円

【三加茂地区】こども100円・おとな500円

〈関係機関〉【三好地区】

ふれあい・いきいきサロン連絡協議会、民生委員児童委員協議会、教職経験者  
南平台・小川谷団地自治会、グランマ、花みずき、ボランティアグループ愛、  
老人クラブ昼間長生会、東みよし町役場福祉課

【三加茂地区】

西庄さんわ推進会、老人クラブ三寿会、老人クラブ加茂大楠会、老人クラブ加茂  
福寿会、三加茂福祉委員会、手話サークルみかも、民生委員児童委員協議会

### ○こども★さろん農林業体験の開催

米作りの体験から農林業の大切さを学ぶとともに、地域住民（高齢者）とのふれあいを通して地域の良さを知り、生まれ育った地域に愛着と誇りが持てることを目的に開催している。

地域団体『東みよし町地域活動支援隊』が主催で開催しており、本会も運営支援を行う。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回	令和5年 5月28日（日） 10:00～12:00	井上農機商会前の畑 （昼間）	田植え	10名 (こども8・大人2)
2回	令和5年10月 1日（日） 10:00～12:00	井上農機商会前の畑 （昼間）	稲刈り	5名 (こども3・大人2)

3回	令和5年12月10日（日） 10:00～12:00	中央公民館	もちづくり (もちつき体験)	10名 (こども6・大人4)
----	------------------------------	-------	-------------------	-------------------

〈参加費〉 こども100円・おとな300円

〈主催〉 東みよし町地域活動支援隊

〈協力〉 ボランティアグループ愛、子ども食堂、東みよし町社会福祉協議会

#### ○子ども食堂の運営相談・支援

子ども食堂の立ち上げに関する相談業務や助成金案内などの運営支援を行った。

#### 【相談対応件数】

◇立ち上げ相談 2件 ◇助成金対応 3件 ◇保険 6件 合計相談件数11件

## 6. 生活支援体制整備事業【町受託事業】

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護サービスの提供のみならず、東みよし町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に体制整備を進めている。

#### ○地域支えあい推進協議体会議

##### ◇第1層協議体（町域）支えあい推進員会議の開催

回数	開催日時	内容	出席数
1回	令和5年9月27日（水） 10:00～11:30	役員改選 協議体説明とこれまでの活動報告 今後の取組と地域課題の共有	16名

##### ◇第2層協議体（小地域）支えあい推進員会議の開催

##### 〈つながりワーカー養成研修の開催〉

つながりワーカーとは、地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、見守る人たちのことで、地域住民が相互に支えあい、共に助け合いながら住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりを目的に『つながりワーカー養成研修』を開催した。

活動名	開催日時	内容	受講者
つながりワーカー養成研修	令和5年10月11日（水） 13:30～15:30	・演習①～④ ・グループワーク ・意見交換	22名

#### ○フレイルサポーター養成講座の開催

加齢により心身の活力が低下している状態のことをフレイル（虚弱）といい、フレイルの兆候に早く気づき、適切な予防を行うことで健康な状態へ戻ることができるといわれている。フレイ

ルサポーターとは、養成講座を受けた住民の方が主体となり、地域や身近な方へフレイル予防を広める人たちのことで、地域でフレイル予防に取り組みいつまでも元気でいきいきとした生活を送ることを目的に『フレイルサポーター養成講座』を開催した。

活動名	開催日時	内容	受講者
フレイルサポーター養成講座	【1日目】 令和6年2月29日（木） 10:00～16:00	【1日目】 ・座学 ・フレイルチェック実技	7名
	【2日目】 令和6年3月1日（金） 9:30～12:00	【2日目】 ・フレイルチェック実践 ・振り返り	

#### ○フレイルサポーター活動の取り組み

地域住民が主体となり、フレイル予防の啓発や推進に取り組むボランティア団体による活動。

〈サポーター数〉

計18名（1期生11名、2期生7名）

活動名	内容	回数	延べ参加数
のびのび教室	参加者の体力測定支援	9回	46名
のびのび教室 （フォローアップ）	同上	1回	5名
フレイルサポーター 養成講座	運営支援、受講者支援	2回	15名

#### ○つながり通信の作成

地域の見守り活動として、手紙を活用した「つながり通信」を作成している。

【内容】健康に関する情報、脳トレ、自宅でできる体操、困りごとの相談先などを掲載

【対象】配食サービス利用者（独居高齢者・高齢者世帯・障がい者など）

地域で見守りが必要な方

【発行数】約 350 部

【発行日】毎月1回

## 7. 赤十字事業

#### ○日本赤十字社活動支援費募集状況

日本赤十字社活動支援費は、町内各戸1世帯600円を目標に寄付いただいたもので、国際救助活動、医療活動、献血活動や赤十字救急法等の講習など多岐にわたり活用させていただいている。東みよし町内ではさんわ会などの講習会や災害時救護活動、災害時のお見舞い金や救急セットの配布などに活用されている。

また、赤十字特別社員では毎年2,000円以上の活動支援費を10年以上継続して支援いただいている活動支援員となる。

◇令和5年度 日本赤十字社活動支援費

【目標額】 2,226,000円

・活動支援費	3,470件	2,032,960円
・特別社員	55件	166,000円（うち新規1名）
計	3,525件	2,198,960円（目標額比較△27,040円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動支援費	2,224,820	2,136,200	2,250,700	2,155,240	2,198,960
件数	3,629	3,579	3,780	3,567	3,525

○赤十字災害用移動炊飯器「専用鉄板」の配備

災害時における移動炊飯器を活用した炊き出しでの“煮る・炊く”中心の炊き出しに「焼き」を加えることで、長期の避難生活を見据えた地域での「食」の支援体制強化を図ることを目的に専用鉄板が配備された。

◇移動炊飯器専用鉄板 1枚  
【保管場所】 さざんか荘倉庫

○小規模災害に対する赤十字見舞金品の交付

日本赤十字社徳島県支部では、災害救助法の適用を受けない小規模の火災・風水害等により被害を受けた方に対し、援護物資や見舞金をお届けしており以下の交付を行った。

半焼・・・1件 見舞金 10,000円〔半焼の為、共同募金緊急災害見舞金無し〕  
見舞品〔緊急セット2個、毛布1枚〕

○令和6年能登半島地震災害義援金

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震災害に対し、1月5日より能登半島地震への義援金の受付を開始し、東みよし町役場三加茂庁舎、同三好庁舎、社協窓口に義援金箱を設置。

3月29日現在828,326円の義援金をお預かりし、令和6年能登半島地震災害義援金として日本赤十字社徳島県支部へ送金を行った。

8. 共同募金事業 ～東みよし町共同募金委員会～

○東みよし町共同募金委員会

実施状況：運営委員会 ①令和5年 5月25日 ②令和5年 9月7日 ③令和6年 3月21日

○令和5年度 共同募金結果

10月1日～12月31日を期間とし、住民の皆様方の深いご理解のもと本年度目標額【赤い羽根共同募金：2,012,100円 歳末たすけあい募金：250,000円】を上回る多くの募金をいただいた。

【赤い羽根共同募金	2,220,516円】	（目標額比較 +208,416円）
（内訳） 自治会	1,911,500円	
職域募金	228,000円	
街頭募金	38,815円	10/1街頭募金
学校募金	6,043円	加茂小学校
その他募金	36,158円	イベント募金
【歳末たすけあい募金	250,648円】	（目標額比較 +648円）

(内訳) 自治会 154,000円  
 街頭募金 58,679円 12/3街頭募金  
 その他募金 37,969円 イベント募金

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
赤い羽根共同募金	2,295,765	2,173,386	2,114,293	2,115,902	2,220,516
歳末助け合い募金	350,000	250,000	276,277	250,407	250,648

○「東みよし町を良くするしくみづくり」助成事業の募集及び助成

住民の皆様にご協力頂いた共同募金を原資とし、東みよし町で活動するボランティア団体や福祉団体等に対して助成することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進することを目的に助成事業を行った。

◇本年度の助成内訳

- (1) 社会福祉協議会が行う地域福祉活動費  
 14事業 1,008,207円 [前年度比 321,793円減]
- (2) 自治会等の地域団体が行う小地域での福祉推進のための活動費  
 6事業 180,000円 [前年度比 3事業増 90,000円増]
- (3) 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体などの活動費  
 9事業 320,000円 [前年度比 1事業増 50,000円増]

---

- 計 29事業 1,508,207円 [前年度比 181,793円減]

## 9. ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは相談事業や、防災・災害ボランティアセンターの推進、福祉の保険加入事業等を実施している。

○ボランティアセンター

【相談事業】

- ・相談件数 19件
- ・相談内容
  - ☆助成金の申請について
  - ☆ボランティア保険について
  - ☆会員の確保や活動について
  - ☆調理ボランティアの募集について

【福祉の保険加入状況】

- ◇ボランティア活動保険 324名加入
- ◇ふれあいサロン・社協行事保険 18,019名加入

○夏休みボランティアスクール

中学生や高校生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を体験することにより、活動への意識付けやきっかけづくりになることを目的としている。

開催日 令和 5年7月31日(月) 10:00~13:00

令和 5年8月 7日(月) 9:30~15:00

会場 東みよし町社会福祉協議会、東みよし町中央公民館

内容 ボランティア講座、米の炊き出し体験、地域イベントの運営全般

参加者 11名

## 10. 防災啓発事業

防災啓発に関する事業及び、組織内における災害対応力の向上のための事業を実施した。

### ○夜間の防災体験

昨年度同様、屋外にて防災ウォーキングイベントとして『ナイトウォーキング・プラス』を開催。昨年度は「ぶぶるパーク」での開催であったが本年度は社協駐車場を主会場として開催。本年度より東みよし町危機管理課も共催となり、危機管理課は「避難場所」についての展示・説明をいただき、また本年度も東みよし町防災士会様にご協力いただき「ロープワーク体験」を実施。その他にも「無線機の使用体験」や健康ウォーキングを実施し、防災クイズにも挑戦いただき防災体力の向上をテーマに防災啓発事業を実施した。

目的：防災に興味を持つきっかけづくりと、いざという時の「体力」「観察力」「発想力」を養っていただく。

開催日：令和5年7月28日（金）18:00～19:30

会場：東みよし町社会福祉協議会・ぶぶるパークみかも

参加人数：69名

### ○東みよし防災フェスティバル2024

目的：東日本大震災を機に、住民の中に防災・減災に対する意識の向上と、地域での自助・互助・共助での支え愛による大規模災害に対する備えがすすめられる中、地域での絆やつながりをさらに深め、日頃からの助け合いの強化のために開催します。また、災害ボランティアセンターや自主防災組織、関係機関等の平常時からの防災の取り組みを知ることにより、他機関連携をますます深めるために開催した。

開催日：令和6年3月10日（日）10:00～13:00

会場：東みよし町社会福祉協議会

参加人数：417名

## 11. シルバー人材センター

シルバー人材センターでは60歳以上の健康で働く意欲のある方を会員として登録いただき、屋外での除草作業や剪定作業、公園の清掃等のほか、各種屋内作業や表装作業など、高齢者の知識と経験を活かした就労を通じた『いきがいつくり』や『仲間づくり』に寄与している。

なお、本年度は派遣事業の適正就労の為、町外事業所への会員の派遣は見直しを実施した。

### (1)月別事業実績

	会員数			受注件数			契約金額			延人員	実人員	就業率
	男	女	計	公共	民間	合計	公共	民間	合計			
4月	46	35	81	19	55	74	485,218	676,303	1,161,521	363	45	55.6%
5月	51	36	87	25	65	90	818,356	863,684	1,682,040	465	52	59.8%
6月	51	36	87	24	61	85	892,476	794,247	1,686,723	447	45	51.7%
7月	51	36	87	26	84	110	779,657	904,423	1,684,080	502	47	54.0%
8月	51	37	88	25	77	102	683,415	770,789	1,454,204	479	46	53.4%
9月	51	37	88	24	72	96	834,340	731,855	1,566,195	436	46	52.3%
上半期計				143	414	557	4,493,462	4,741,301	9,234,763	2,692	59	67.0%



10月	51	37	88	24	65	89	773,396	898,675	1,672,071	414	50	56.8%	
11月	51	37	88	20	64	84	578,919	1,099,490	1,678,409	415	49	55.7%	
12月	51	37	88	17	50	67	491,535	595,136	1,086,671	292	40	45.5%	
1月	51	37	88	18	10	28	439,014	275,781	714,795	202	36	40.9%	
2月	51	37	88	17	14	31	502,849	192,230	695,079	211	35	39.8%	
3月	51	37	88	18	30	48	503,335	364,126	867,461	250	42	47.7%	
下半期計				114	233	347	3,289,048	3,425,438	6,714,486	1,784	59	67.0%	
前年比				-1	-66	-67	-3,175,070	-1,845,619	-5,020,689	-586	-	-	-
合計				257	647	904	7,782,510	8,166,739	15,949,249	4,476	64	72.7%	

## (2)職群別就業状況

職群	職種	受注件数	実人員	延人員	契約金額	比率	備考
事務的業務	外勤事務	15	16	107	123,420	1.0%	事務
農林漁業	農業及び林業の就業	165	31	486	3,095,558	17.6%	農作業、庭木の剪定
生産	製品製造、加工	15	2	57	482,364	2.2%	表装作業
建設・採掘	土木の職業	10	14	81	487,323	4.1%	芝生砂入れ等
運搬・清掃	清掃、除草	699	63	3745	8,857,913	75.1%	清掃、除草作業等
合計		904	64	4,476	15,949,249	100%	

## (3)シルバー派遣事業実績

職群	契約件数	実人員	延人員	契約金額	備考
サービスの職業	1	11	405	1,699,436	介護、施設清掃等
輸送・機械運転の職業	1	1	138	812,987	ゴミ収集補助業務
運搬・清掃・包装等の職業	2	3	226	284,158	施設内清掃等
合計	4	15	769	2,796,581	

## (4)短時間日常生活支援事業

職種	契約件数	実人員	延人員	契約金額
ゴミ出し	14	2	61	6,100
日用品等の買い物	4	1	7	700
合計	18	3	68	6,800

## 12. シルバー大学校・大学院【県受託事業】

高齢者自身が生きがいをもって豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を援助し、将来は地域福祉を推進するリーダーの養成を目的に実施。また、シルバー大学院では専門性の高いレベルでの学習の機会を提供している。

シルバー大学校では授業内容も多岐にわたる分野で大変充実しており、卒業生からは「楽しかった」、「もう一度入学したい」等のご意見を頂いた。

大学院は昨年度を上回る11名の入学者がおり、受講者の学びによる生きがいの促進とともに相互のつながりの構築による、より一層地域福祉の推進に貢献できる人材育成が期待される。

	シルバー大学校	
	健康コース	ICTコース
入学者数	14	10
辞退者数	0	1

シルバー大学校 大学院 ICT
11
1

### 13. 各種福祉団体の状況

① 東みよし町老人クラブ連合会 9クラブ会員数520名

6月の総会を皮切りに、「交通安全教室」「県老連グラウンドゴルフ大会」「体育大会」「ウォーキング大会」などに大勢の会員に参加いただいた。また、県老連よりe-スポーツの機器を貸与しe-スポーツ体験会を開くなど若手部会主催によるニュースポーツなどの機会の確保に努めた。

② 東みよし町遺族連合会 加茂・三庄・三好町の3つの遺族会により構成

役員総会を開催し、意見交換、親睦を図るとともに、各地区遺族会ごとに上部団体主催の会議等に参加した。町追悼慰霊祭を6月23日にふれアリーナみよしで開催した。また、県戦没者追悼式が8月27日に開催され参加した。

③ 東みよし町身体障害者会 会員数108名

総会を開催（16名参加）、また役員会を5月11日（7名参加）、8月18日（4名参加）に開催し意見交換を図る。社会参加促進事業として、三好市と合同で6月15日にボッチャ大会、9月21日にフライングディスク大会を開催し、グラウンドゴルフ大会を10月12日に開催。7月23日には三好市合同障害者スポーツ大会が開催され参加者73名、来賓8名、運営役員9名、各施設職員30名の計120名が参加した。12月5日に研修旅行を開催し21名が参加した。

④ 東みよし町手をつなぐ育成会 会員数9世帯11名

総会を開催し意見交換、親睦を図った。8月6日には、コミュニケーション教室に2名の会員の方が参加され、三好市手をつなぐ育成会会員や博愛ビレッジや箸蔵山荘の利用者との交流を通じて親睦を深めた。また、9月3日には四国三郎の郷で三好市手をつなぐ育成会主催のふれあいキャンプに8名の会員が参加し、デイキャンプやレクリエーション活動を通じた社会参加や交流の場となった。3月17日には日帰り研修を行い、4名が参加されボウリングなどを通じて会員同士で交流を深めることができた。

⑤ 東みよし町ゲートボール協会 6チーム会員数31名

高齢者の健康づくり、生きがいづくりとして活動。上半期は町GB協会主催による春季大会を実施。三好・三加茂各地区でも定期的に練習を行い、11月には秋季大会も開催。会員数は減少しているが、各クラブの熱意により新規入会者もでてきている。また、大会では合同チームを編成するなどの工夫を凝らし大会を盛り上げています。会員相互の交流とスポーツを通じた体力の向上、いきがいの向上に寄与。

⑥ 三加茂福祉委員会 会員数134名

三加茂地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける調理、配送などの活動を行っている。三加茂地区敬老会での招待者へメガネスタンドを贈呈するため作成した。東みよし町文化まつりでは掘り出し物市、コーヒーバザーを出展し、また、3/10防災フェスティバル2024では炊き出しコーナーにて調理と配膳に協力し、参加いただいた地域住民をはじめ関係機関へカレーライスを提供した。

⑦ ボランティアグループ愛 会員数40名

三好地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける配送などの活動を行っている。7月25日開催のこども★さろんでは、手作りのカレーライス

とサラダを調理し、参加した子どもたちと交流を行っている。また、3/10防災フェスティバル2024では炊き出しコーナーにて調理と配膳に協力し、参加いただいた地域住民をはじめ関係機関へカレーライスを提供した。

⑧ 東みよし町ボランティア連絡協議会 11団体265名、個人11名

町内のボランティアグループの連携・調整を図り、研修会などを開催している。本年度は、7月3日に総会を開催し、36名の会員に出席いただいた。総会後には講師をお招きし、最近の消費者トラブルについて講演を行っている。また、12月4日には3年ぶりとなる日帰り研修を再開することができ、36名の会員に参加いただいた。

⑨ 東みよし町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会 サロン42か所、会員500名

町内のふれあい・いきいきサロンが相互の連携・協働により、サロンの継続支援のための活動を展開することを目的としている。今年度の総会では「やましろAKB」の記念講演があり、生きがいづくりや活動のコツなども紹介されました。また、7月21日には徳島県理学療法士会協力のもと、農業者トレーニングセンターで「みんなで百歳体操」を開催。多くのサロンから70名が集まり交流するとともに、「いきいき百歳体操」の必要性や他サロンの活動なども共有し、連絡協議会の本質であるサロン同士の横のつながりも深めることができた。

## 生活支援事業

### 1. 生活困窮者自立支援事業【県社協受託事業】

本事業では、経済的な問題のみならず、精神的、家庭的、健康的な問題等複合的な問題を抱えながら地域生活を送られている方を対象に、自立と尊厳の確保を目指し、包括的・個別的・早期的・継続的な支援の実践を行なった。

相談支援員（兼）就労相談支援員 1名（とくしま・くらしサポートセンター 東みよし担当）  
担当職員 1名

#### ◇延べ相談件数

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	51	70	43	41	82	42	32	37	66	89	57	49	659
来所	21	27	12	18	12	13	16	14	23	16	12	19	203
アウトリーチ	5	12	12	6	9	6	5	13	29	24	13	7	141
合計	77	109	67	65	103	61	53	64	118	129	82	75	1003

#### ◇月次実績明細

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数（総数）	0	1	1	1	1	1	3	0	0	1	2	0	11
プラン作成件数（総数）	2	5	1	3	0	5	2	4	1	4	0	5	32
就労支援対象者数	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業	2	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	8
	就労準備支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	生活福祉資金等による貸付	0	4	1	0	0	4	0	4	1	1	0	18
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### ◇年度別相談件数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ相談件数	1175	828	1003

#### ○自立相談支援機関における、休日等の相談体制の整備について

休日・夜間等においても相談対応できるような体制を整えており、本会へかかってきた電話を転送設定し、1週間ごとの当番制により相談対応している。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ相談件数	241	219	312

#### ○フードバンク・フードドライブ事業

主に企業や関係団体などから提供いただいた、食品や生活用品などを必要な方へお届けするフードバンクと、主に個人の方より提供いただき活用するフードドライブを実施している。

今年度は子育て世帯に年2回のフードパントリーを実施した。越年支援も利用者が年々増えている状況である。

また、小中学校を通じてフードバンク・モノバンク事業の周知を行ったため、制服や体操服など、子どもの支援に活用できるものを多く寄付していただけた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
寄付	60	83	119	93	97
個人	51	59	99	70	67
団体	9	24	20	23	30
配布	245	248	237	229	315
個人	242	228	212	219	300
団体	3	20	25	10	15

## 2. 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金貸付と相談・支援を行うことにより世帯の経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図ることを目的とした制度となる。

### ○緊急小口資金等新型コロナウイルス特例貸付

令和2年3月25日より開始した、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した世帯を対象とした、緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金（生活支援費）特例貸付の受付期間は令和4年9月30日で終了となった。

また、住民税非課税世帯等に対する償還免除の手続きを開始した。

### ◇貸付状況（令和6年3月31日現在）

資金種類	貸付件数	貸付金額	償還金残高	滞納件数	滞納金額
総合支援資金	2	1,200,000	611,400	1	66,400
更生資金	1	1,344,000	3,246,011	1	668,000
福祉資金	7	8,648,551	6,573,033	5	2,391,329
教育支援資金・修学資金	25	24,228,000	11,170,686	10	2,251,420
緊急小口資金	3	301,125	373,158	3	184,135
コロナ特例	62	15,450,000	13,079,560	35	1,728,930
総合支援資金	22	8,250,000	7,892,110	12	360,000
緊急小口資金	40	7,200,000	5,187,450	23	1,368,930
合 計	90	51,171,676	35,053,848	55	7,290,214

### ◇本年度申請・貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額
教育支援資金	1	1	98,000
緊急小口資金	2	2	120,000
合 計	3	3	218,000

### ◇償還完了状況

資金種類	完了件数	償還金額合計	説明
緊急小口資金	2	120,000	
教育支援資金	3	3,363,000	
緊急小口資金（コロナ特例）	1	200,000	
合 計	6	3,683,000	

◇償還免除・時効援用等

資金種類	完了件数	償還免除金額合計	説明
緊急小口資金	1	100,750	県知事職権免除
総合支援資金（コロナ特例）	6	3,060,000	償還免除
緊急小口資金（コロナ特例）	5	1,000,000	償還免除
合計	12	4,160,750	

3. 福祉つなぎ資金貸付事業

一時的に生活に困窮している低所得世帯（町内に在住する低所得世帯で臨時の出費又は、収入の欠如等により生活を維持するのが困難な世帯で、生活福祉資金貸付制度で貸付決定された者及び会長が特に必要と認めた者）に対し、生活の安定を図るために資金を貸し付けている。

◇本年度貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額	償還金残高	滞納件数	滞納金額
福祉つなぎ資金	7	7	216,000	50,000	0	0

4. 権利擁護事業

I. 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

福祉サービスの利用援助を行うと共に日常的な金銭管理を行い、地域での生活の為の支援を行っている。

◇相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

内 容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他		
a. 問い合わせ件数 （制度・事業について）	5	0	3	2	3	13
b. 初回相談件数 （初回相談受付）	0	4	4	0	0	8
c. 相談援助件数 （ab 以外）	45	341	579	98	0	1,063
合計	50	345	586	100	3	1,084

◇契約締結件数（令和5年度末の契約締結件数）

事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 （再掲）	合計
契約者数		1	2	0	0	1	3
契約時 自宅外 （再掲）	施設	0	0	0	0	0	0
	病院	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	0	0	0	0	0	0

◇終了件数（令和5年度末まで）

事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
終了件数		0	0	0	0	0

◇現在の実利用人数（令和5年度末時点）

事項	対象者				合計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	
実利用人数	3	9	13	4	29

◇契約準備件数（令和5年度末時点）

事項	対象者				合計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	
契約準備件数	0	0	0	0	0

## II. 権利擁護センター事業【町受託事業】・成年後見事業

成年後見制度の利用促進に関する法律に基づく中核機関として、東みよし町が設置した東みよし町権利擁護センターの運営委託を受け、関係機関と協力しながら成年後見制度の利用促進に向けた取り組みを推進・拡充するため令和5年4月東みよし町社会福祉協議会に「あどサポ東みよし」を開設。日常生活に不安のある高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用手続きや財産管理の援助、悪質商法等の権利侵害、複雑な契約や相続等の法律行為についての相談等を受け、年3回開催予定の定例検討会において必要に応じて専門職による助言などを確保しつつ、権利擁護支援を適切に実施するためのコーディネート、成年後見制度の推進機関として制度の促進や手続きの支援等を行っている。

- ・定例検討会
  - 令和5年 6月 1日 事案件数5（高齢3、障がい1、その他1）
  - 10月18日 事案件数7（高齢5、障がい2）
  - 令和6年 2月21日 事案件数7（高齢5、障がい2）
- ・アドバイザー派遣
  - 令和5年12月11日 事案件数1（高齢）
  - 令和6年 1月26日 事案件数1（高齢）

◇相談受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数（総数）	6	3	7	3	14	8	24	21	16	20	10	8	140
新規（人）	5	3	2	0	3	3	1	8	0	0	3	2	30
継続（人）	1	0	5	3	11	5	23	13	16	20	7	6	110
定例会検討事例件数	0	0	5	0	0	0	3	0	0	0	7	0	15
成年後見制度	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	5
日常生活自立支援事業	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	5	0	8

## 5. 居住支援事業【国庫補助事業】

低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯などで住宅を確保することが困難な方（住宅確保要配慮者）が民間賃貸住宅等へ円滑に入居できるよう推進するとともに、入居後に必要な福祉サービスを始めとした各種サービスが利用できるよう支援を行った。

また、様々なサービスや制度につなげることで住み替えることなく安心して生活できるよう支援を行った。

○東みよし町居住支援協議会の設置

不動産、福祉・医療、法律、行政、研究者などの専門家で構成する協議会を設置し、住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後サポートを実施。

◇会議の開催状況

第1回居住支援協議会 令和5年11月21日(火) 13:30～15:00

第2回居住支援協議会 令和6年 1月31日(金) 10:00～11:30

◇相談受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数（総数）	15	0	2	2	3	2	4	0	2	2	1	0	33
終了	4	0	2	1	1	2	3	0	0	0	1	0	14
継続	11	0	0	1	2	0	1	0	2	2	0	0	19
経過	空き家登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	引越	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	不動産会社等への取次ぎ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	生活支援	13	0	0	1	2	1	1	0	2	0	0	20
	入院・入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	0	2	1	0	0	2	0	0	1	1	0
制度の利用等	生活保護受給申請	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活困窮者自立支援事業	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	生活福祉資金貸付事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	日常生活自立支援事業	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	配食サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	福祉電話設置事業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	障がい福祉サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

◇年度別相談受付状況の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談受付件数	25	21	23	24	33
終了	20	14	11	4	14
継続	5	7	12	20	19

6. 包括的支援体制強化事業【県社協受託】

○社会福祉法人連携

令和5年度より町内の社会福祉法人との連携を「東みよし町くらしサポートネットワーク」として新たに取り組んだ。高齢、障がい、児童など様々な分野で把握した課題とニーズを共有し、改善策の構築を図っていく。解決ができないことで相談支援が途切れることのないよう、新たな取り組みの検討を行う会議を年2回開催した。

- ・ 定例検討会 ①令和5年10月19日 ②令和6年1月24日



## 7. 総合相談事業【町受託事業】

三加茂地区は毎月第1・3金曜日午後、三好地区は毎月第2・4木曜日午前に悩みごと・困りごと等、秘密厳守・無料で相談窓口を開設した。心配ごと相談・人権相談・行政相談・身体障害者相談の窓口を設け、親身に相談に乗ると共に、適正な関係機関への連絡・調整等も行い、悩みごとの改善に努めている。近年はご近所とのトラブルに関する相談や相続に関する相談が多く、専門機関との連携により対応を行っている。

【開設状況】	三加茂	三好	合計
開設回数	22	23	45

【相談状況】		来所	自宅等	来所	自宅等	来所	自宅等
相談 件数	心配ごと相談	4	7	2	2	6	7
	行政相談	1	5	1	1	2	6
	人権相談	0	2	3	0	3	1
	身体障害者相談	1	0	0	0	1	0
	居住支援相談	0	0	0	0	0	0
	合計件数	6	14	6	3	12	14

◇大藤・奥村地区出張相談を令和5年10月10日(火)に大藤公民館にて実施。  
相談員、行政担当課の情報交換などにより地域の実情を知る機会となっている。

## 8. 見守りサービス事業

○つながり通信による定期訪問

毎月1回配食サービス実施日に合わせて、配食を希望しない高齢者等のご家庭に、つながり通信をボランティアが持参して声かけを実施。本年度も三好警察署-生活安全課から提供の特殊詐欺防止のリーフレットを用いて呼びかけを実施した。

○見守り配食サービス

75歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯や障害者世帯などの要配慮者の見守り活動の一環として、お弁当を1食300円でお届けする。調理ボランティアによる手作り弁当や町内料理店などに調理いただいた弁当を、ボランティアの皆さんに配送いただき毎月2回ずつお届けしている。

◇配食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食総数	347	352	356	337	341	328	320	321	327	317	311	308	3,965
三加茂地区	218	216	223	206	208	204	196	203	211	195	193	207	2,480
三好地区	129	136	133	131	133	124	124	118	116	122	118	101	1,485

※三加茂地区は毎月第1・第3木曜日に、三好地区は毎月第2・第4金曜日に配食サービスを実施。

8月第1週(いなり寿司・煮しめ)、12月第1週(もち・みそ)は見守り活動の一環としてつながり通信の配布による声かけを実施しているご家庭にも軽食をお届けした。

三加茂地区においては月1回、ボランティアさんの手作りによるお弁当を配布しており、9月の敬老月間には敬老祝膳（赤飯・天婦羅等）を、12月にはおせち料理のお弁当を調理しお届けした。

三好地区においては、10月から調理再開ができる支部からボランティアさんの手作りによるお弁当を再開しお届けした。

◇利用登録者数（R6年3月末時点）

		配食登録者	見守りサービス
三加茂	161	116	45
三好	99	71	28
合計	260	187	73

◇ボランティア（調理・配送）登録者数

	三加茂	三好	合計
ボランティア登録者数	134	47	181

## 9. 高齢者移送サービス事業【町受託事業】

山間地域にお住まいで交通手段がない方や不便な世帯の65歳以上の高齢者や障害者の方が、在宅で自立した生活を送るために、乗合バスにより、片道200円で町内の「医療機関」及び「公共機関」へ毎週1回送迎を行っている。

運行にあたっては町内タクシー業者に運転業務を委託し、安全に配慮した運行を心掛けている。

◇運行状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運行日数（日）	332	316	279	248	264
利用者数（人）	1,692	1,305	1,141	866	889
登録者数（人）	171	150	153	135	126

◇登録者数（長期不在者除く）

班	運行日	該当地区	登録者数(人)	
三加茂地区	1班	水曜日	大藤・奥村	27(-2)
	2班	火曜日	引地・白内・桑内・加茂山上・加茂山下	15(+1)
	3班	木曜日	泉野・五名上・五名下・平・新発地・森清	27(-3)
	4班	金曜日	毛田・毛田西山・木藤・黒長谷	9(0)
	計			78(-4)
三好地区	1班	月曜日	石木・棟木・増川・柳沢	8(-1)
	2班	火曜日	葛籠・男山	14(-2)
	3班	水曜日	滝久保・岸上・岸下・内野	19(-3)
	4班	金曜日	足代中屋・笠母・聖神・ハタ・法市	7(0)
	計			48(-5)
合計			126(-9)	

※登録者数のカッコ内は前年度比

## 10. 福祉用具貸与事業

短期貸出では、障害者や高齢者などが旅行等で一時的・短期的に車椅子、歩行器が必要となった際に無償で貸出しを行っている。長期貸出では、介護保険で非該当または要介護1以下の障害者や高齢者が、福祉用具を提供することにより、在宅で自立した生活が送れるように支援を行う。なお、消毒代金の一部を利用者さんにご負担いただき運用している。

【短期貸出】		【長期貸出】	
	貸出件数	令和5年度	年度末累計
車いす	13件	0件	8件
歩行器	0件	0件	3件
		4件	15件

## 11. 福祉電話設置事業【町補助事業】

要援護者世帯等で通信手段がない世帯に対して、緊急連絡を可能とする為の電話の設置を行い、互助力・共助力の向上をはかり、地域からの孤立や孤独の防止に努めている。固定電話設置にかかる工事費、毎月の基本料金を本事業により負担し、毎月の通話料金は個人負担としてご利用いただいている。

◇電話回線契約状況 新規契約2件 休止回線7件 令和6年3月末現在契約件数8件

## 12. まごチャンネル設置事業【町受託事業】

障害者世帯や高齢者世帯に対し、画像伝送システムとAIによる環境センサーを備えた『まごチャンネルwithSECOM』を設置することにより、家族とのつながりや熱中症対策などの生活安全支援体制の提供を行う。なお、本事業は徳島県 Society5.0推進事業補助金を受けて東みよし町より委託された事業となり、令和5年度までの実証実験として利用に伴う通信費等自己負担は発生することなく運用いただいている。

第3期となる今年度は、「ご家族様主体の見守り」となっており、アプリのライフログにより不安を感じた場合に安否確認要請があれば、社協から安否確認を実施する。実際に安否確認要請はなかったが、ご利用者様に実施したアンケート調査では、「安否確認要請のサービス」があることにより安心感を得られるとの回答をいただいた。東みよし町ホームページからのダウンロード方式でご利用いただいている動画コンテンツも、利用者様からは好評いただいている。

◇まごチャンネルwithSECOM 設置台数 8台

◇見守り世帯状況 家族 町内 ⇒ 利用者 町内 1件

家族 県内 ⇒ 利用者 町内 2件

家族 県外 ⇒ 利用者 町内 5件

◇安否確認要請 令和5年3月31日現在 → 0件

◇今年度作成したコンテンツ 趣味・風景 ⇒ 10本 脳トレクイズ ⇒ 12本

グーパー体操 ⇒ 2本

### 13. 地域生活支援事業【市町・広域連合等受託事業】

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種事業を実施している。

#### ○生活訓練等事業(知的コミュニケーション)

- ・事業内容 他の参加者との交流や社会体験を通じ、生活範囲の拡大と生活の質の向上を図り、社会参加の促進を図ることを目的に映画鑑賞会を開催する。
- ・実施状況 令和5年8月6日開催に開催。30名の方にご参加いただき、徳島イオンショッピングセンターにて買い物、映画鑑賞を行った。

#### ○手話通訳者派遣事業

- ・事業内容 聴覚障害者を対象とし、日常生活や各種催しなどの際に、必要に応じて手話通訳者を派遣する。
- ・実施主体 徳島県聴覚障害者福祉協会
- ・実施状況 利用回数20回

#### ○要約筆記者派遣事業

- ・事業内容 日常生活や講演等各種催しにおいて、聴覚障害者のために要約筆記者を派遣する。
- ・実施主体 JCI Teleworkers' Network
- ・実施状況 利用回数0回

#### ○声の広報発行事業

- ・事業内容 毎月1回朗読ボランティアの協力により、町発行の広報誌をCDに録音し声の広報として視覚障害者に配布している。なお、社協広報誌についても同様に発行している。
- ・実施主体 朗読ボランティア：パラピリプルペレポロ9名
- ・実施状況 回数：12回（町広報誌） 4回（議会だより） 2回（社協広報誌）  
配布世帯数：3世帯

#### ○スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

- ・事業内容 スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者等の体力増進、交流、余暇等に資するため、及び障害者スポーツを普及するため、各種スポーツ・レクリエーション教室や障害者スポーツ大会を開催している。（三好市と交代で実施）
- ・実施状況 本年度は三好市が担当の為実績なし

#### ○手話奉仕員養成講座事業(入門編)

- ・事業内容 手話通訳者の養成を目的とした講習会を開催する。
- ・実施状況 6月6日（火）～11月14日（火） 全23回  
毎週金曜日 19:30～21:00
- ・受講人数 20名（うち13名修了）

#### 14. 児童福祉事業

学生が福祉に関心を持ってもらうことを目的として、小・中学校へ訪問し福祉授業などを実施している。

##### ○小・中学校での出前授業

回数	開催日時・場所	訪問先	対象	内容
1回	令和5年6月13日（火） 13:15～15:10 農業トレーニングセンター	三加茂中学校	1年生	<ul style="list-style-type: none"><li>・講義「福祉を知ろう」</li><li>・講義「認知症対応の仕方」</li><li>・寸劇</li><li>・障がい者体験（車いす、点字図書・UD食器、視覚障がい、聴覚障がい）</li><li>・全体まとめ</li></ul>
2回	令和5年12月19日（火） 9:30～11:20 加茂小学校体育館	加茂小学校	4年生	<ul style="list-style-type: none"><li>・講義「障がいについて」</li><li>・障がい者体験（車いす、点字図書・UD食器、視覚障がい、聴覚障がい、ひざ関節・ひじ関節制限）</li><li>・みんなにやさしい町について考える（まとめ）</li></ul>

# 在 宅 福 祉 課

## 介護保険事業

### 通所介護

介護保険対象者の方や、総合事業の通所型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方や65歳以上の方で介護認定を受けていない介護予防対象者の方が利用されています。令和5年11月1日よりおおぐす荘利用者定員を30名に変更しています。令和5年12月1日よりさざんか荘利用者定員を30名に変更しています。

- デイサービスセンターおおぐす荘（令和5年度年間開所日合計243日、1日平均利用者数21人）  
定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 30名（年間平均利用73%）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護	実人数	65	74	62	47	41
	延人数	4,481	4,744	4,388	4,546	3,756
支援(現行)	実人数	15	13	9	9	10
	延人数	764	689	672	739	775
支援(緩和)	実人数	45	31	29	17	13
	延人数	1,418	1,298	1,196	864	604
事業対象者	実人数	7	7	8	5	3
	延人数	454	267	223	243	174
きらめき	実人数	1	1	0	0	0
	延人数	23	16	0	0	0

### 令和5年度 年齢別利用者数

60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳
0名	1名	1名	4名	10名	29名	20名
95～99歳	100歳～	令和5年度末時点での合計				
6名	0名	71名				

- デイサービスセンターさざんか荘（令和5年度年間開所日合計243日、1日平均利用者数23人）  
定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 30名（年間平均利用76%）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護	実人数	51	59	55	38	36
	延人数	3,558	4,062	3,605	3,584	3,701
支援(現行)	実人数	17	22	18	12	16
	延人数	968	1,271	907	795	1,087
支援(緩和)	実人数	23	11	13	10	9
	延人数	849	649	584	637	461
事業対象者	実人数	9	7	6	3	3
	延人数	462	325	382	254	215
きらめき	実人数	8	6	6	5	3
	延人数	119	112	118	105	54

### 令和5年度 年齢別利用者数

60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳
0名	2名	5名	6名	15名	27名	16名
95～99歳	100歳～	令和5年度末時点での合計				
6名	0名	77名				

- 在宅介護者の会

自宅において高齢者の介護をされているご家族に、介護に関する情報交換や体操を行い、リフレッシュを目的とした時間を過ごしていただく会の開催を目指す。

- 家族介護教室

①令和5年8月30日（水）13:30～15:30 参加者3名

②令和6年2月20日（火）13:30～15:30 参加者4名

介護を続けて行くにあたり興味深い話や、自宅でできる体操を理論とともに学べて有意義な時間を持てたと好評だった。

○ホームヘルプセンター

介護保険対象者、総合事業の訪問型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方々に身体介護、生活援助の提供を行っています。

（令和5年度年間開所日合計247日、1日平均訪問数22人）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護	実人数	29	38	42	31	30
	延人数	2,034	2,128	2,712	3,330	3,381
支援（現行）	実人数	2	1	4	2	2
	延人数	5	5	57	96	66
支援（緩和）	実人数	34	35	35	28	23
	延人数	1,426	1,507	1,709	1,537	1,442
事業対象者	実人数	5	7	7	5	6
	延人数	219	347	336	296	429

令和5年度 年齢別利用者数

60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳
0名	5名	9名	7名	9名	22名	17名
95～99歳	100歳～			令和5年度末時点での合計		
8名	0名			77名		

○居宅介護支援事業所

介護保険に関する相談、介護保険の申請代行、介護支援サービス計画の作成、居宅において日常生活を営むための調整を行います。

（令和5年度介護支援専門員3名（うち1名パート職員） 年間平均担当 85%）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護 延べ人数	1341	1126	1137	1142	1068

令和5年度 利用者介護度

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
人数	36	50	14	10	1	111

令和5年度 年齢別利用者数

60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳
0名	1名	11名	14名	11名	34名	32名
95～99歳	100歳～			令和5年度末時点での合計		
10名	2名			115名		

○障害福祉サービス

居宅介護…障害者総合支援法で訪問介護の利用が認められた障害者世帯等に訪問して日常生活上の援助を行っています。

生活介護…社会参加、自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上を日中時間帯に提供させていただきます。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活介護	実人数	1	1	2	2	2
	延人数	105	92	212	200	104
居宅介護	実人数	9	9	11	8	10
	延人数	397	498	582	497	593

※生活介護：デイサービスセンターさざんか荘 居宅介護：ホームヘルプセンター

令和5年度 年齢別利用者数

20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
1名	2名	1名	1名	1名	1名	3名
55～59歳	60～64歳	65～69歳		令和5年度末時点での合計		
0名	1名	1名		12名		



# 東みよし町地域包括支援センター

# 令和5年度 地域包括支援センター事業報告

## 事業経過報告

令和5年度は、前年度から引き続き、地域包括支援センターの基本として東みよし町に即した町づくり地域包括ケアの実現に向けて「介護予防」「総合相談」「権利擁護」「個別地域ケア会議からの地域課題の抽出」「介護支援専門員の資質向上」「認知症への取り組み」に重点を置き、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう関係機関との連携強化を図り、地域づくりに取り組みました。中でも地域のサロンに出向き、体組成計を活用し、フレイル予防についての普及啓発と、認知症への取り組みとして認知症検索・声かけ模擬訓練の実施と研修会を重ねて認知症への理解や支援方法について知識を深め、地域全体で支えていくことができるようネットワークの支援体制の強化に取り組みました。

### I. 介護予防ケアマネジメント業務

包括支援センターが実施する介護予防教室等の周知や、教室での介護予防の情報提供及び地域の実態把握を行うことで、介護予防普及啓発と健康増進活動の支援を行いました。

#### 1. サービスC対象者の訪問・相談 (のびのび教室)

訪問・相談数

区分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	内実人員
訪問	28	9	9	46	46
来所	0	0	0	0	0
電話等	0	0	0	0	0
計	28	9	9	46	46

#### 2. サービスC対象者に係る介護予防ケアプラン

作成数

区分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	内実人員
通所型(委託分)	0	0	0	0	0
(教室分)	20	9	9	38	38
訪問型(専門相談)	3	0	0	3	3
その他	0	0	0	0	0
計	23	9	9	41	41

評価数

区分	件数
プラン継続	0
プラン変更	0
(内訳)	
介護給付に変更	0
予防給付に変更	0
終了	40
合計	40

#### 3. 一般高齢者の介護予防事業実施

	実施回数	参加者数	実施者数
講演会(介護予防教室)等での介護予防についての教育	43	457	92
相談会での介護予防相談支援	0	5	0
その他(のびのび教室・フォローアップ等)	11	376	50

実施担当者

保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	その他
48回	34回	26回	30回

## II. 総合相談支援業務、権利擁護業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、高齢者やその家族、近隣の住民等からの様々な相談に対応し、相談内容に即した情報提供、関係機関の紹介等を行いました。

### 1. 相談件数

区 分	件数	内実人員	夜間等対応		
			平日（昼間）	17:30~8:30	休日（昼間）
①介護保険その他の保健福祉サービスに関する事	271	221	269	0	2
②権利擁護（成年後見制度等）に関する事	3	2	3	0	0
③高齢者虐待に関する事	5	4	5	0	0
④その他	93	78	90	1	2
合 計	372	305	367	1	5

### 2. 相談内訳 ※①②③④は1の相談内容区分による。（関係機関は行政・医療・保健・福祉関係）

担当者別 相談内容	相談方法			相談者				合計	
	訪問	来所	電話等	本人	家族	地域	関係機関		
保健師 等	①	2	21	68	14	44	2	31	91
	②	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	1	1	13	2	5	3	5	15
社会福 祉士	①	7	26	86	14	66	3	36	119
	②	0	0	2	0	0	0	2	2
	③	1	1	2	2	0	0	2	4
	④	0	6	23	3	4	5	17	29
主任介 護支 援専 門員	①	6	20	35	6	36	1	18	61
	②	0	0	1	0	0	0	1	1
	③	0	0	1	0	0	0	1	1
	④	4	13	32	4	11	5	29	49
計		21	88	263	45	166	19	142	372

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
相談件数	569件	586件	467件	515件	372件

- ・出張地域包括支援センター（相談コーナーの設置）  
開催回数 2回 参加者数 202名 相談者数 0件
- ・認知症初期集中支援 0件
- ・東みよし町における困難事例要因調査の実施  
個別地域ケア会議における地域課題の抽出を行いました。 3件

### 3. 地域包括支援ネットワーク構築

地域及び関係機関、民間事業所との連携を図ることで、地域の実情に応じたネットワークを構築し、早期発見・見守り体制の強化に取り組んでいます。

- ・地域包括支援ネットワーク構築 開催回数 104回 参加者数 2,464名
- ・ネットワーク会議の開催・参加 開催回数 9回 参加者数 193名
- ・地域ケア会議等の開催 開催回数 3回 参加者数 30名
- ・さんカフェの開催 開催回数 10回 参加者数 84名



- ・ ケアマネ研修会の開催・参加                      開催回数        9回   参加者数 <sup>192名+Zoom研修のため不明</sup>
- ・ 資質向上のための研修会の開催・参加            開催回数        51回   参加者数    3517名
- ・ 介護支援専門員に対する個別支援                実施回数        83回

#### IV. 介護予防給付・総合事業のケアプラン

介護認定において要支援1・2と判定された人と事業対象者を対象に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるように、要支援状態の悪化の防止や自立を目指して介護予防ケアプランを作成し、適切にサービスが提供されるよう連絡調整を行いました。

##### 1. 介護予防支援給付管理状況 (件)

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
	新規	初回	継続	新規	初回	継続		
要支援1	7	1	278	2	0	16	304	25
(内委託分)	0	0	19	0	0	1	20	2
要支援2	24	2	1,057	6	1	73	1,163	97
(内委託分)	2	1	38	1	1	2	45	4
合計	31	3	1,335	8	1	89	1,467	122
(内委託分)	2	1	57	1	1	3	65	5

##### 2. 介護予防ケアマネジメント(総合事業)給付管理状況 (件)

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
	新規	初回	継続	新規	初回	継続		
事業対象者	1	1	187	0	0	1	190	16
(内委託分)	0	0	7	0	0	0	7	1
要支援1	9	0	239	0	0	0	248	21
(内委託分)	1	0	2	0	0	0	3	0
要支援2	17	2	657	2	0	1	679	57
(内委託分)	1	0	19	0	0	0	20	2
合計	27	3	1,083	2	0	2	1,117	93
(内委託分)	2	0	28	0	0	0	30	3

##### 3. 介護予防ケアプラン・総合事業ケアマネジメント作成数

※サービス担当者会を実施した作成プラン数

	介護予防ケアマネジメント	総合事業ケアマネジメント	合計
件数(件)	324	187	511

#### 4. 介護予防支援業務委託の状況

委託事業所別件数

委託事業所数（令和6年3月末現在）

事業所名		3月件数（件）
管内 事業 所 (5)	健生西部診療所	1
	健祥会ケアプランセンターみよし	4
	合同会社 あさひ	1
	合同会社 はちどり	2
	ライフアップ	1
管外 事業所 (0)		
合 計		9